

アクトシティ浜松の歩行量調査結果

創造都市・文化振興課

1 AゾーンとCゾーンの比較について

(1) 歩行量調査の結果

調査日		R3. 10. 17(日) 8~20時			R3. 10. 19(火) 8~20時		
ゾーン	方向	歩行者数 (人)	利用者数 (人)	利用率 (%)	歩行者数 (人)	利用者数 (人)	利用率 (%)
A	東⇒西	1,338 ※+129 [R2:1,209]	1,149 ※+75 [R2:1,074]	85.9 ※-2.9 [R2:88.8]	2,168 ※+71 [R2:2,097]	2,014 ※+144 [R2:1,870]	92.9 ※+3.7 [R2:89.2]
	西⇒東	1,675 ※+134 [R2:1,541]	1,402 ※+51 [R2:1,351]	83.7 ※-4.0 [R2:87.7]	2,039 ※-204 [R2:2,243]	1,770 ※-263 [R2:2,033]	86.8 ※-3.8 [R2:90.6]
C	東⇒西	1,014 ※+217 [R2:797]	859 ※+243 [R2:616]	84.7 ※+7.4 [R2:77.3]	1,139 ※+128 [R2:1,011]	997 ※+98 [R2:899]	87.5 ※-1.4 [R2:88.9]
	西⇒東	1,114 ※+310 [R2:804]	897 ※+300 [R2:597]	80.5 ※+6.2 [R2:74.3]	1,289 ※+108 [R2:1,181]	1,085 ※+100 [R2:985]	84.2 ※+0.8 [R2:83.4]

<AゾーンとCゾーンの比較>

- ・Cゾーンは、Aゾーンに比べて、動く歩道の利用者が少なかった。
- ・Cゾーンは、休日、平日とも、東向き、西向きの利用者数はあまり変わらなかった。利用率は、休日、平日ともに、東向きの方が低かった。
- ・Aゾーンは、休日は東向きの利用者が多く、平日は西向きの利用者が多かった。利用率は、Cゾーンと同様に、休日、平日ともに、東向きの方が低かった。

<昨年度の調査との比較>

- ・歩行者数の増加に伴い、動く歩道の利用者数が増加する傾向が確認された。
- ・Aゾーンの利用率、及びCゾーンの平日の利用率については、昨年度とほとんど同じであった。しかし、Cゾーンの休日の利用率は、東向き、西向きともに、約6~7%増加した。

(2) 考察

- ・Aゾーンの動く歩道は、平日を中心に約9割の方が利用していることから、浜松駅方面からBゾーンの施設を利用する際の動線として必要なものと考えられる。平日の利用者は、アクトタワー内や市街地のオフィスに向かうビジネス関係者が多いと推察する。
- ・Cゾーンにおける東向きの利用率が他の地点に比べ恒常的に低いことから、動く歩道と楽器博物館への接続橋との位置関係により楽器博物館へ向かう人の一定数は動く歩道を利用していないものと推察する。
- ・Cゾーンの利用者が増えた背景には、大ホールでの大規模なコンサート(辻井伸行さんの演奏)などが行われたことがあると推察する。また、自家用車でアクトを訪れた方が、駅北駐車場から大ホールへ向かう動線上に動く歩道があるため、利用率が上がったものと推察する。
- ・楽器博物館の利用者数が昨年度と比較して減っている(R2:311人⇒R3:217人)ことに加え、駅北駐車場から楽器博物館への移動動線上に動く歩道がないことから、今年度の調査におけるCゾーンの利用率の増加は、楽器博物館への移動動線とは直接的に関係がないものと推察する。

2 AゾーンとBゾーンの比較について

(1) 歩行量調査の結果

調査日		R3. 10. 17(日)	R3. 10. 19 (火)
ゾーン	方向	歩行者数 (人)	歩行者数 (人)
A	東⇒西	1,338 ※+129 [R2:1,209]	2,168 ※+71 [R2:2,097]
	西⇒東	1,675 ※+134 [R2:1,541]	2,039 ※-204 [R2:2,243]
B	東⇒西	296 ※-64 [R2:360]	350 ※-109 [R2:459]
	西⇒東	463 ※-87 [R2:550]	457 ※-137 [R2:594]

<AゾーンとBゾーンの比較>

- ・Bゾーンは、Aゾーンに比べて歩行者数が少なかった。
- ・Bゾーンは、休日、平日ともに、東向きの歩行者が多かった。Aゾーンは、休日は東向きの歩行者が多かったが、平日は西向きの歩行者が多かった。

<昨年度の調査との比較>

- ・Bゾーンは、休日、平日ともに、歩行者数が減った。
- ・Aゾーンは、休日及び平日の西向きの歩行者は増えたが、平日の東向きの歩行者は減った。

(2) 考察

- ・浜松駅方面からアクト方面へ向かう歩行者の多くはAゾーンを通過するが、Bゾーンの調査地点を通過していないことが分かる。このことから、東向きの歩行者の多くは、Bゾーンを通過してCゾーンやDゾーン（楽器博物館）方面へ向かう方ではなく、アクトタワー内のオフィスや店舗を利用する方であることが推察される。

3 総合考察

- ・Cゾーンの動く歩道の利用者の多くは、駅北駐車場とAゾーン（ホール）とを往復する方であって、動く歩道を撤去しても、楽器博物館を利用する方に影響は少ないものと推察する。
- ・浜松駅方面から楽器博物館への移動動線として、動く歩道がある外の連絡通路を利用する方が少ないことから、Cゾーンの動く歩道を撤去しても、電車等の公共交通機関で浜松駅を訪れ、そこから徒歩で楽器博物館へ来場する方への影響は少ないものと推察する。

